

理工系から



法律にかかわる仕事をする!

—クロスボーダー・プロフェッションを目指して—

理工系の学部・大学院で学ぶ皆さんは
「法律なんて、自分たちの分野には関係ない」と思っていないですか？
そんなことはありません

発明と「特許」、ソフトウェアと「著作権」
遺伝子等の「情報の帰属」や「利用権」等々
理工系にかかわる法律は数多くあります

何よりも、法学の理解には、理工系の考え方やセンスが大いに活かされます
この講演会では、ものづくり支援にも活躍する理系出身弁護士の仕事の面白さや
国家公務員として理系の仕事にかかわった経験などについて語っていただきます

クロスボーダー・プロフェッションを目指して
法律系の大学院で学ぶ可能性を探ってみませんか？

⚖ 講師 ⚖

平井 佑希 弁護士（農学部卒・本学ロースクール出身）

特許訴訟などにおいて、技術と法律双方の共通言語を駆使して活躍中

田淵 エルガ 准教授（国際社会科学研究院・知的財産法担当）

文系を出て、文科省で国際宇宙ステーションにかかわる仕事などを担当

10月26日（水） 16：15～17：45（5限）

理工学部講義棟A 3階 304教室（キャンパスマップ S5-5）

主催：国際社会科学府 法曹実務専攻（法科大学院）・国際経済法学専攻

問い合わせ：社会科学系事務部 法科大学院係

TEL：045-339-3660 e-mail：int.houka@ynu.ac.jp

www.ls.ynu.ac.jp/

www.iblaw.ynu.ac.jp/